

## 行政改革大綱実施計画書

大綱主要項目		スマート自治体の推進				
具体的な項目		各種情報システムの運用・構築				
実施計画項目		緊急通報システムの運用				
担当課		いきいき高齢課	関係課	デジタル戦略課		
No. V-2-(3)		令和3	4	5	6	7
実施年度	実施計画	○	○	○	○	○
	効果又は 数値目標	累計設置台数 500台	累計設置台数 540台	累計設置台数 580台	累計設置台数 620台	累計設置台数 660台
進捗 状況	実績	S	S			
	効果又は 数値実績	累計設置台数 542台	累計設置台数 584台			
現状と課題						
<ul style="list-style-type: none"> <li>急速に高齢化が進行する中、一人暮らし高齢者等の緊急事態に対応するため、平成5年度から緊急通報システム整備事業を実施している。</li> <li>当該システムは、当初、電話回線を用いて消防署へ通報するシステムであったものを、平成26年度からインターネット回線により警備会社に通報するシステムに移行し、運用している。</li> <li>機器の操作方法、システムの仕組み等について、高齢者への丁寧な説明が必要である</li> </ul>						
課題解決に向けた方策						
<ul style="list-style-type: none"> <li>該当者となる一人暮らし高齢者等の緊急事態における効果的な対処が可能となるよう、真岡市緊急通報システム事業実施要綱に基づき設置を進めるとともに、機器の操作説明や安否確認を兼ねて、警備会社による月1回の定期訪問を実施する。</li> </ul>						
具体的な取組内容						
<ul style="list-style-type: none"> <li>緊急時の迅速な対応のために、緊急時の協力者を3人程度確保してもらう。</li> <li>システムを活用した高齢者の常時見守りに加え、月1回の定期訪問を実施し、面接によって高齢者の安否を確認するとともに、安心を提供する。</li> <li>これまで、数値目標を年度末における設置台数としてきたが、新規設置台数と撤去台数が同程度あること、撤去したシステムについても設置時においては、高齢者の安否確認等に寄与してきたことを踏まえ、令和元年度以降の数値目標には累計設置台数を用いることとし、基準年度は平成30年度380台とし、R元年度420台、R2年度460台を目標値とした。【令和元年度見直し（修正）】</li> </ul>						
【令和4年度】						
<ul style="list-style-type: none"> <li>高齢者実態調査時に該当者へのパンフレット配布を行った。</li> <li>設置者の緊急時に備え、救急医療情報キットの配付を行った。</li> <li>年度末累計設置台数 584台（新規設置台数 42台）</li> </ul>						
*参考：令和3年度末累計設置台数 542台						
実績考察（理由、改善すべき点等）						
【令和4年度】						
<ul style="list-style-type: none"> <li>実績は予定を上回る結果となっている。年度内の設置希望者には設置が完了している。新規申請数は、前年度より33件減となった。一人暮らし高齢者等の不安軽減を図るためにも、必要な方に設置が完了できるよう取り組む必要がある。</li> </ul>						
考察を踏まえての今後の取組方針						
【令和5年度】						
<ul style="list-style-type: none"> <li>今後も設置業者と調整し、迅速な対応ができるよう随時調整していく。</li> <li>引き続き、高齢者実態調査時に該当者へパンフレットを配布し周知するほか、設置者に緊急時の備えとして救急医療情報キットの配付を行う。また、高齢者福祉の支援者（民生委員・包括支援センター・相談事業所等）や各機会を通じて幅広く情報提供を行う。各地域での集まりがあれば情報提供していく。</li> </ul>						